

新刊図書案内

表 題	編 著 者	出 版 者	出版年月	定 価	ISBN	備 考
オックスフォード地球科学辞典	Ailsa Allaby Michael Allaby	朝倉書店	2004.05	¥15,000	4-254-16043-7	監訳：坂幸恭
気象業務はいま2004 活かそう情報、防ごう 災害	気象庁	佐伯印刷	2004.06	¥2,500	4-9902078-0-7	
調べ学習・自由研究に 役立つ お天気まるわかり BOOK	山内豊太郎	成美堂出版	2004.07	¥900	4-415-02631-1	
天気予報が楽しみになる本	渡辺博栄	数研出版	2004.07	¥1,300	4-410-13829-4	

注：表中で定価はすべて本体価格です（特記したものを除く）。



気象庁研究時報56巻 1号内容案内

気象庁研究時報56巻1号が平成16年6月18日に発行されましたので内容（表題：著者：ページ：要旨）についてお知らせいたします。

なお、気象庁研究時報は気象業務支援センター（Tel：03-5281-0440, Fax：03-5281-0443, URL：<http://www.jmbc.or.jp>）から購入できます。

◇2000年12月25日伊豆大島竜巻の親雲の構造—ミニスーパーセルのメソサイクロンから離れた位置に観測された時計回転の竜巻：加治屋 秋実：P1-16

メソサイクロンと反対方向に回転していた伊豆大島竜巻の親雲の構造を解析した。この竜巻はガストフロント後面の弱い冷氣だまりに位置し、冷氣だまりの縁辺部には一般場とメソスケールの気流による収束域が存在した。これらの気流の収束に起因する水平シア不安定と上昇流が竜巻の発展に寄与したと推定され、伊豆大島竜巻はミニスーパーセルに付属の対流セルに発生したノンスーパーセル竜巻であった可能性が示唆

された。

◇大規模循環場の変化と地域特性の調査及び2003年夏の季節予報と予報技術の検証—平成15年度全国季節予報技術検討会報告—：気候・海洋気象部気候情報課：P17-40

平成15年度全国季節予報技術検討会では、3か月予報、寒・暖候期予報の数値予報資料翻訳などに利用するため、中・高緯度及び熱帯域の大規模循環場の変化が日本の天候に与える影響について、系統的な調査を実施した。また、1993年以来10年ぶりの冷夏（ただし、南西諸島は暑夏）となった2003年夏について、実況の解析と過去の冷夏年との比較、ガイダンスを含む数値予報資料や発表された季節予報などの検証を行って現状の予報技術の問題点を抽出し、それらの改善方策をまとめた。

（気象庁総務部企画課図書資料管理室）